

2955

カコセズ用

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國

其他

對

荒

不

貞

夫

其

他

宣誓供述書

供述者

井上忠男

自分儀我由ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ヅ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ如ク
多ク述致シマス

2357

一、私ハ元陸軍中佐デアリマシテ現在東京都品川区上大崎五ノ六三一
ニ住ンテ居リマス。

二、私ハ昭和十九年十二月二日ヨリ大本營參謀トナリ總務課ニアリ
テ參謀總長ノ祕書的業務ニ服シ梅津參謀總長ノ閱覽見スル
電報及文書類ハ凡テ私ガ取扱ツテオリマシタ。

三、昭和十九年末ヨリ昭和二十年ニカケ我軍ノ戰況ハ不利トナリ特
ニ米空軍及潜水艦ノ活躍ノ爲大本營ト南方軍並ニ支那派遣
軍トノ連絡ハ極メテ困難ニ陥リマシタ。

從テ大本營ト現地軍トノ通信ハ專ラ無線通信ニ據ラネバナラヌ
コトトナリマシタ。無線電信ハ自然其ノ通信量ニ制限セラレマス
ノテ現地軍トノ通信ハ作戰ニ関スル事項、戰況ニ関スル事項等
緊急ヲ要スルモノガ殆ド独占スルコトトナリマシタ。

四、以上ノ如キ情況デアリマシタノテ現地軍デ起ツタ殘虐行爲等ノ

報告ハ中央部ニハ到達シテ参リマセン。此種報告書類(電報ヲ含ム)ヲ私ハ見タコトモナク從テ参謀總長ニ閱覽ヲ乞フタコトハ一回モアリマセンデシタ。又之ニ関シ参謀總長ヨリ指示ヲ與ヘタコトモアリマセンデシタ。

五. Bニ九搭乗員ニ対スル軍律會議ニ関スル陸軍大臣宛現地軍ノ上申書ハ私ノ手許デハ取扱ツタコトハアリマセン。從テ参謀總長ノ閱覽ニ供シタコトハアリマセン。

六. Bニ九搭乗員ノ不法処断ニツイテハ我々ハ終戦後始メテ聞イタノデアリマシテソレ迄ハ参謀總長トノ會談ニ於テ此ノ種ノ問題ガ話題ニ上ツタコトハ全然アリマセンデシタ。

七. 大本營ニハ法務將校ハ居リマセン。又裁判ニ関スル事項ヲ審議スル機關ハ持ツテオリマセン。此等ノ機關ハ陸軍大臣ノ下ニアリマシタ。

昭和二十二年（一九四七年）十月十七日 於東京

供述者

井上忠男印

右ハ營立命人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於東京

立會人

宮田光雄印

№ 1. 100 ♪

良心ニ従ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ祕秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

宣

誓

書

署名捺印

井上忠男印